第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | ジオポリマー・アルカリ活性材料/ポリマーコンクリート

ジオポリマー・アルカリ活性材料3/ポリマーコンクリート

座長:麓隆行(土木),今本啓一(建築)
2024年6月28日(金) 13:15 〜 15:00 第1会場 (小展示室A)

[1210]熱水浸せき条件がジオポリマーモルタルに混入したバサルト短繊維の劣化に及ぼす影響

長田知紘[1], 前川明弘[2], 犬飼利嗣[1], 井向日向[1] (1.岐阜工業高等専門学校 2.三重県工業研究所)
キーワード：ジオポリマー、熱水浸せき、バサルト繊維、曲げ強度、pH、溶出

本報では，熱水浸せき条件がバサルト短繊維の劣化に及ぼす影響について，バサルト短繊維補強ジオポリマーモルタルの曲げ強度試験結果から検討した。その結果，バサルト短繊維の劣化に及ぼす主たる要因は80℃の熱水そのものではなく，80℃の熱水により促進された高アルカリのメタけい酸ナトリウム水溶液と非晶質材料であるバサルト短繊維の反応によること，供試体成型後に80℃の熱水浸せきをしたバサルト短繊維補強ジオポリマーモルタルの pHは低下する傾向にあるが，熱水浸せき期間が5日であっても pH12以上の高アルカリ環境下にあり，バサルト短繊維の劣化は必ずしも避けられるものではないことなどの知見を得た。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会